

古代文化センター令和5年度調査研究年報

■古代文化センター企画運営委員会

〔1〕第1回（令和5年10月31日（火） 於：松江市殿町 サンラボーむらくも）

出席委員 7名（佐藤、小林、千葉、仁藤、俵木、平郡、山本）

(1) 議 事

① 基礎研究

- 1) 考古基礎資料調査研究
- 2) 風土記調査研究
- 3) 祭礼行事調査研究
- 4) 中世・近世史料の多角的研究

② テーマ研究

- 1) 島根県域における弥生社会の総合的研究
- 2) 中世山陰の戦争と地域社会
- 3) 島根の前期古墳
- 4) 鋳物と鋳物師の研究
- 5) 幕末維新期の島根における地域社会の変容
- 6) 律令制下における地方行政の研究

(2) 報 告

- ① 古代文化情報発信事業
- ② 古代歴史文化に関する共同調査研究事業
- ③ 古代文化の郷「出雲」調査事業・史跡出雲国府跡発掘調査
- ④ 島根県立古代出雲歴史博物館での企画展実施状況

〔2〕第2回（令和6年3月13日（水） 於：松江市殿町 サンラボーむらくも）

出席委員 6名（佐藤、久留島、仁藤、俵木、山村亜紀、山本）

(1) 議 事

① 基礎研究

- 1) 考古基礎資料調査研究
- 2) 風土記調査研究
- 3) 祭礼行事調査研究
- 4) 中世・近世史料の多角的研究

② テーマ研究

- 1) 島根県域における弥生社会の総合的研究
- 2) 中世山陰の戦争と地域社会
- 3) 島根の前期古墳
- 4) 鋳物と鋳物師の研究
- 5) 幕末維新期の島根における地域社会の変容
- 6) 律令制下における地方行政の研究

(2) 報 告

- ① 古代文化情報発信事業
- ② 古代歴史文化に関する共同調査研究事業
- ③ 古代文化の郷「出雲」調査事業・史跡出雲国府跡発掘調査
- ④ 島根県立古代出雲歴史博物館での企画展実施状況

■調査研究事業

〔1〕基礎研究

(1) 考古基礎資料調査研究

① 墓制調査

a. 前期古墳の基礎的研究

令和元年度から前期古墳の基礎的研究を継続して進めている。今年度は5～6月、1月に堀部1号墳（松江市鹿島町）の測量調査をおこなった。同古墳は全長約45.5mの造り出し付円墳として、松江市指定史跡（堀部古墳群）に指定されている。近年、地形観察などから古墳時代前期にさかのぼる前方後円墳の可能性が指摘されている。今回の測量調査によって、①全長70m、後円部2段築成、前方部1段の前方後円墳である可能性が高まった。地形観察では葺石や埴輪などは認められず、前方部は細長い形態をしている。葺石と埴輪が認められないこと、墳丘形態から古墳時代前期にさかのぼる前方後円墳である可能性があるが、周辺地形の改変により確定には至らない。今回の成果は、出雲地域における古墳の出現過程や、王権・他地域との交渉を考えるうえで重要な手がかりと言える。なお、本研究はテーマ研究「島根の前期古墳」と連携しながら進めており、今後も同研究に必要な基礎的研究と位置づけて実施する。

b. 横穴式石室の基礎研究

昨年度から開始した新規研究。横穴式石室・横穴墓およびその出土品に関するデータを蓄積し、将来的なテーマ研究等に展開するための基礎的な研究をおこなっている。資料化されていない横穴式石室の実測や、石棺式石室の三次元モデル作成などをおこなう。今年度は、才光寺K113号墳（松江市大草町）、雨乞山古墳（松江市八雲町）の横穴式石室の実測、三次元モデルの作成を行った。

（伊藤徳・岩崎・榊原・鈴木・東森・東山・廣江・仁木・吉松）

② 基礎資料調査（出土品再整理）

a. 西川津遺跡出土品再整理

本事業は過去に島根県教育委員会が発掘調査を実施し、現在埋蔵文化財調査センターで収蔵している出土品のうち、報告書非掲載遺物を中心とした再整理をおこない、その内容を明らかにするものである。その成果を展覧会や刊行物で広く活用することを目的としている。

令和3年度から西川津遺跡海崎地区【『西川津遺跡Ⅲ』（島根県教育委員会1987）、『西川津遺跡Ⅳ』（島根県教育委員会1988）、『西川津遺跡Ⅴ』（島根県教育委員会1989）】の再整理を開始し、今年度は3年目になる。整理の方法は土層図から基本層序を再整理し、各層位と出土遺物を照らし合わせることで遺跡全体の堆積過程を復元し、遺構や重要遺物の年代的位置づけを明確にし、遺跡の全体像をより詳細に明らかにすることである。

今年度は『西川津遺跡Ⅲ』と『西川津遺跡Ⅳ』、『西川津遺跡Ⅴ』の石器と動物依存体を対象に分類をおこなうとともに、土層との対応関係を検討した。これにより、昨年度の成果と合わせ、西川津遺跡海崎地区の堆積状況と各層位の年代、遺物の状況を概ね把握することができた。

b. 日韓交流の基礎研究

昨年度開始した弥生～古墳時代を対象に、島根県域と朝鮮半島との交渉関係を示す資料を素材にして基礎的な研究である。今年度は、昨年度収集した資料情報を基に整理し、島根県域の状況を第50回山陰考古学研究会（8月26・27日）で報告した。このほか、出雲地域の遺跡から出土した朝鮮半島系遺物、特に土器資料を中心に熟覧し、製作地や時期等を調査し、資料を実見する検討会を開催した。

（稲田・榊原・椿・東森・深田・真木・松尾・吉松）

③ 生産遺跡調査（近世近代在地陶磁器調査、古代窯業生産）

a. 近世近代在地陶磁器調査

昨年度からあらたに、近世近代の在地陶磁器生産に関する基礎研究を開始している。県内における窯業遺跡や関連する伝世資料についてデータを収集、記録を作成し、島根県域における陶磁器生産史の全体像や、その特質を明らかにすることを目的とする。今年度は昨年度から引き続き石見焼を対象とし、吉田製陶所（浜田市上府町）の工房の実測調査や製作用具の実測調査、写真撮影などの調査を実施した。

b. 古代窯業生産（須恵器・埴輪等の産地分析）

県内の須恵器・埴輪について、蛍光X線分析機器で胎土分析をおこない、遺物の型式学的研究とあわせ産地や製品の流通について検討するための基礎データを得ることを目的とする。今年度は、出雲地域では初現期（古墳時代中期）の窯である門生山根1号窯について分析を進めた。

（上山・勝部・榊原・仁木・東森・間野・吉松）

④ 青銅器調査（荒神谷遺跡青銅器調査、埋納地調査）

今年度は、テーマ研究「島根県域における弥生社会の総合的研究」と連動するかたちで、出雲における青銅器文化の実態に関する多面的な分析に着手した。ここでは当センターが長年集積してきた全国の青銅器埋納地の立地環境に関するデータを中心に、景観や自然立地条件、周辺の集落・墳墓の分布や可視領域などの要素について総合的に検討を始めている。また、荒神谷・加茂岩倉・志谷奥遺跡と多数埋納、入れ子の採用など類似点が多い松帆銅鐸群（兵庫県南あわじ市）との比較研究に着手した。

（澤田・増田・松尾）

⑤ 検討会（2024年2月6日、於・埋蔵文化財調査センター）

(2) 風土記調査研究

① 基礎資料調査

a. 風土記写本写真一覧表の更新

当センターが撮影した『出雲国風土記』等の写本写真のうち、研究者・県民等が閲覧できるものを一覧表に整理し、当センターHP上に公開中。本年度は昨年調査成果を発表した写本1点（勝部氏本）の情報を追記した。

b. 風土記写本調査

高野宮本『出雲風土記』（内神社所蔵・島根県立古代出雲歴史博物館寄託） 写本調査（2023年12月13日、古代出雲歴史博物館）

（参加者）橋本剛・平石充・野々村安浩

c. 島根県古代史関連文献一覧の公開

昨年度刊行した『出雲国風土記一校訂・注釈編一』の参考文献一覧をベースに、風土記関係以外の島根県域の古代史に関する論文も含めて集成し、当センターHP上で公開した。

② 歴史景観復元調査

a. 国府周辺の研究（風土記の丘地内調査支援）

第35回史跡出雲国府跡発掘調査指導委員会（2023年10月26日、八雲立つ風土記の丘展示学習館）

（出席者）橋本剛・榊原博英

③ 「大原郡の研究」検討会

担当者：橋本剛、平石充、久保田一郎、野々村安浩、林健亮

客員研究員：荒井秀規、伊藤剣、大日方克己、渡邊正巳

研究協力者：志賀崇

第1回検討会（2023年9月23日、於・古代文化センター）

検討内容：風土記大原郡条の本文校訂、大原郡域の遺跡・考古資料、近世の風土記解釈など

参加者：県職員6名、客員研究員4名、研究協力者1名

第2回検討会（2024年3月23日、於・古代文化センター）

検討内容：風土記の本文校訂、郡垣遺跡の発掘調査成果、神原神社古墳周辺の様相など

参加者：県職員7名、客員研究員4名、研究協力者1名

④ 出雲国風土記の総括的研究

a. 兵庫県との研究連携

ひょうご歴史研究室『播磨国風土記』研究班 令和5年度第1回研究会

（2023年6月11日、オンライン会議）

（参加者）平石充・橋本剛・池淵俊一

ひょうご歴史研究室『播磨国風土記』研究班 令和5年度第2回研究会

(2023年10月21日、オンライン会議)

(参加者) 野々村安浩

ひょうご歴史研究室『播磨国風土記』研究班 令和5年度第3回研究会

(2024年2月12日、オンライン会議)

(参加者) 平石充・橋本剛・野々村安浩

⑤ ポケット版風土記(仮)

昨年度刊行した『出雲国風土記一校訂・注釈編一』に基づき、一般向けの書籍を刊行するための編集会議を定期的に開催した。

(橋本・平石・久保田・野々村)

(3) 祭礼行事調査研究

島根県内の祭礼行事および民俗分野に関わる事象について、調査研究と記録作成を行い、その具体的内容と全体的性格を明らかにする。

① 民俗芸能等調査・記録作成

a. 「熊山三寶大荒神式年神楽 御誕生祭」記録映像の編集

「熊山三寶大荒神式年神楽」は、松江市東忌部町熊山地区で33年に一度開催される式年神楽で、2021年5月に斎行された式年神楽について撮影・編集を行った。また、式年神楽の最後の行事に位置付けられる「御誕生祭」(2022年5月斎行)についても撮影し、午前中に行われた荒神碑前の神事と午後からの大原神職神楽の奉納の模様をほぼノーカットで収録した「記録編」を今年度編集した。DVD・blu-rayともに3枚組(約279分)。(石山)

b. 「槻の屋神楽」記録映像の撮影・編集

「槻の屋神楽」(雲南市木次町湯村、1962年島根県指定)は2002年度に記録映像を作成しているが、その際に収録できなかった演目等を中心に2020年から3年計画で撮影を実施することとし、初年度の2020年には2演目の撮影・編集を行った。2021年度は新型コロナ流行により撮影中止となったが、2022年度は舞所(舞殿)設営と七座(清目)〈八乙舞〉、能舞〈須佐遷宮〉の撮影を実施した。今年度は昨年度撮影した映像の編集に加えて、10月に能舞〈八戸〉(古式大蛇)、奏楽12曲の撮影・編集を行った。(浅沼)

c. 「唐川の獅子舞」記録映像の撮影

「唐川の獅子舞」は毎年11月3日の韓竈神社(出雲市唐川町)の例祭で奉納される獅子舞である。唐川の獅子舞は出雲西部でよく見られる三人立ちの獅子舞で、〈烏居巻〉〈根切〉〈ささら〉〈剣舞〉〈手踊〉〈鈴舞〉の7演目が現在伝承されている。この獅子舞が奉納される韓竈神社例祭では、神社での祭典とともに頭家神事も行われており、獅子舞とあわせて頭家神事や頭練り等の模様も収録した。今年度撮影した映像は、来年度編集予定である。(石山)

d. 盆踊り所在確認調査

2020年度から22年度まで実施した「盆踊り所在確認調査」の結果に基づき、今年度は現地調査を県内6ヶ所(出雲3・石見2・隠岐1)で実施した。(中野・石山・浅沼)

② 民俗資料収集調査

a. 民俗芸能関連用具類調査・撮影

「下須の萬歳楽」(鹿足郡吉賀町下須、1990年県指定)で使用される道具類と古文書類の調査および写真撮影を2023年11月14~15日に実施した。記録映像は2024年度撮影予定。(石山・浅沼)

b. 『石見国神社記』の翻刻

同書は明治初年に実施された石見全域の神社調査をもとに、藤井宗雄が各社の社伝や棟札からの情報も加えて1887年に完成させたものである。同書はこれまでに山藤忠氏が『郷土石見』誌上で現江津市・浜田市域部分を翻刻したり、『桜江町誌』や『川本町誌』などが当該町域部分を翻刻したりはしているが、全体としては未刊行のままである。2022年度は邑智郡(下)の後編を本書で報告する。(山崎)

c. 牛尾家所蔵史料調査・目録作成

2020年度から、牛尾家(江津市桜江町)所蔵の近世・近代の文書および牛尾三千夫氏(1907~1986年)収

集資料の整理と目録作成を行っている。23年度は昨年度からひきつづき、21年度に確認された新たな史料の整理と目録作成を進めた。（藤原・石山・浅沼）

③ 基礎調査

2020年度より「島根県域の祭礼行事と民俗芸能の変容」というテーマの元、1988年に実施された「島根県民俗芸能緊急調査」で報告された約250件と、未報告の約250件、計約500件の民俗芸能について、資料収集を実施している。現況調査について、来年度開始予定である。なお、①dの「盆踊り所在確認調査」は、この予備的調査として位置付け、実施している。（浅沼）

④ 検討会（2024年1月20日（土） 於：島根県古代文化センター）

令和5年度の事業報告および令和6年度の事業計画について協議・検討
（出席者）

客員研究員：中野洋平、山崎亮、久保田裕道

県職員：池淵・石山・浅沼・品川

（4）中世・近世史料の多角的研究

急速に史料が散逸しつつある現状をふまえ、前年度に引き続き島根県の中世・近世の歴史を特徴づける、県内外の公的機関・個人が所有する古文書等の調査・研究を行い、その成果の情報発信に努めた。

① 検討会（2024年1月22日 於：古代出雲歴史博物館）

令和5年度事業と今後の計画について協議

（客員研究員）小林准士（島根大学法文学部）、西田友広（東京大学史料編纂所）

（指導者）岸本 覚（鳥取大学）、天野真志（国立歴史民俗博物館）、小杉紗友美（津和野町教育委員会）

（県職員）池淵、平石、目次、矢野、田村、倉恒、岡、中安、濱田

② 史料調査・研究

2023年11月16日 個人蔵文書（大田市）の調査

2023年5月15日・6月27日・7月25日・8月30日・9月28日・10月25日・11月16日・12月21日・2024年1月26日・2月21日・3月25日 亀井家文書（古代出雲歴史博物館所蔵）の一括購入分・個別購入分の細目録作成

随時 北島家文書（古代出雲歴史博物館寄託）の古記録以外分の整理

鰐淵寺近世近代文書（古代出雲歴史博物館寄託）の整理・細目録作成

松江市山本家文書・邑南町西福寺文書（いずれも古代出雲歴史博物館所蔵）の整理・目録作成

江津市中村家文書（古代出雲歴史博物館寄託）の整理

③ 中世史料集成

随時 県外自治体史等から中世の島根関係記事を抽出・目録化し、古代文化センターのHPで公開

『益田家文書』大日本古文書第5巻の目録作成・公開 『萩藩閥閥録』目録公開

『御湯殿の上の日記』目録作成・公開 『天文日記』『蔭涼軒日録』の記事抽出・目録作成

島根県内中世城館史料目録：県東部（出雲地域）を中心に抽出作業（『出雲尼子史料集』他）

同能義郡域史料の目録作成・公開 ※テーマ研究「中世山陰の戦争と地域社会」と連携

〔2〕テーマ研究

（1）島根県域における弥生社会の総合的研究

1）目的

島根県の弥生時代中期から後期の実像を明らかにし、大量の青銅器を保有・埋納した「出雲」の特質に焦点を当てる。①集落（住居群・区画溝・墳墓群・生産地・祭祀）の動態などから、首長制社会へ移行する社会的統一の過程を明らかにする。②朱・鉄・ガラスのような東アジア全体に及ぶ広域流通品のありかたや、漆・玉・石器・木器といった手工業品の生産・流通の様相を分析することにより、人・物・文化が動き合う地域間交渉の実態を明らかにする。

2）活動概要

研究3年目となる今年度は、検討会を2回実施した。第5回検討会では、水田構築や鉄器化、動物異存体の

検討などの検討を行ったほか、隣接する鳥取県と岡山県の弥生遺跡と比較して意見交換を行った。第6回検討会では、過去の報告のまとめと、東日本、朝鮮半島南部地域の社会との比較と意見交換を行い、最後に研究のまとめの意見交換をした。また、令和6年度に計画している、研究成果を反映させた古代出雲歴史博物館企画展示の開催に向けて準備を進め、展示構成の企画、展示候補資料の調査、出品交渉などを行った。

〔担当者〕 東森、吉松、榊原、勝部、中川、松尾、深田、宮本、真木、鈴木、上山

〔客員研究員〕 吉田広（愛媛大学）、若林邦彦（同志社大学）、會下和宏（島根大学）、寺前直人（駒澤大学）、平郡達哉（島根大学）

3) 検討会

第5回検討会（2023年11月30日 於：埋蔵文化財調査センター）

〔研究報告〕

中川 寧「山陰における弥生時代の水田畦畔構築方法」

吉松優希「石器から見た島根県域の鉄器化」

真木大空「西川津遺跡の動物遺存体整理状況」

東森 晋「島根県の弥生集落－中期から後期－」

参加者：客員研究員5名、関係機関5名、県職員12名

第6回検討会（2024年3月17日 於：埋蔵文化財調査センター）

〔研究報告〕

真木大空「これまでの報告のまとめ」

平郡達哉「弥生時代後半期の韓半島南部地域の状況について」

寺前直人「東日本の弥生社会について」

東森 晋「令和6年度古代出雲歴史博物館企画展示について」

参加者：客員研究員5名、関係機関5名、県職員10名

4) 資料調査等

2023年4月5日 郡垣遺跡出土資料調査 於：雲南市教育委員会整理室

2023年8月8日～2024年3月31日 平所遺跡出土資料調査 於：八雲立つ風土記の丘

2023年8月28日 神原正面北遺跡出土資料調査 於：雲南市教育委員会整理室

2023年9月6日 長尾遺跡出土資料調査 於：安来市立歴史資料館

2023年10月30日 国竹遺跡出土資料調査 於：奥出雲町収蔵庫

2023年11月2日・2024年2月22日 間内越遺跡、田和山遺跡、友田遺跡出土資料調査 於：松江市教育委員会

2023年12月11日 亀井遺跡、瓜生堂遺跡出土資料調査 於：大阪府文化財センター

2023年12月12日 松帆銅鐸資料調査 於：玉青館

2023年12月20日 那珂遺跡、今宿五郎江遺跡、雀居遺跡出土資料調査 於：福岡市埋蔵文化財センター

2023年12月21日 本行遺跡出土資料調査 於：鳥栖市教育委員会

2023年12月21、22日 吉野ヶ里遺跡出土資料調査 於：佐賀県立博物館、吉野ヶ里遺跡発掘調査事務所

2023年12月25日 古屋敷遺跡出土資料調査 於：大田市教育委員会

2024年1月10日 唐古・鍵遺跡出土資料調査 於：橿原考古学研究所附属博物館

2024年1月11日 唐古・鍵遺跡、清水風遺跡出土資料調査 於：唐古・鍵考古学ミュージアム

2024年1月11日 郡・倍賀遺跡出土資料調査 於：茨木市立文化財資料館

2024年1月23日 長畝山北遺跡出土資料調査 於：津山郷土博物館

2024年1月24日 津島遺跡出土資料調査 於：岡山県古代吉備文化財センター

2024年1月25日 古八幡付近遺跡出土資料調査 於：島根県埋蔵文化財調査センター

2024年1月30日 下市瀬遺跡出土資料調査 於：北房振興局

2024年2月13日 藤津遺跡、伝鳥取銅鐸資料調査 於：鳥取県立博物館

2024年2月13日 下坂本清合遺跡、松原田中遺跡出土資料調査 於：鳥取県埋蔵文化財センター

2024年2月14日 西大路土居銅剣調査 於：やまびこ館

2024年2月14日 青谷上寺地遺跡出土資料調査 於：青谷かみじち史跡公園準備室

2024年2月16日 白枝荒神遺跡、美談神社2号墳出土資料調査 於：出雲弥生の森博物館
2024年2月15・20日 目久美遺跡、大谷遺跡、日吉塚古墳出土資料調査
通年：西川津遺跡海崎地区査出土資料整理作業

(2) 中世山陰の戦争と地域社会

1) 目的

16世紀から17世紀初頭における山陰地域の戦争の様相と地域社会との関係について、各城館の特質と変遷、諸勢力の動向、地域の交通・流通、戦争経済など、様々な視角から追究する。

2) 活動概要

今年度は、2回の検討会（第5回と第6回）を実施した。第5回検討会では、県内外の城館に関する報告を設定した。県東部・熊野城周辺の城館や、因幡地域の城館について、戦争との関係をめぐる報告を設定した他、北九州や安芸郡山城周辺の陣城（陣跡）の事例についても取り上げ、富田城周辺の陣城遺構との比較検討を行った。

第6回検討会では文献と城館（考古）それぞれから山陰地域の戦争に関わる総括的な報告を設定した。まず、尼子期、織田・毛利期それぞれの戦争状況と山陰地域のあり方について、文献資料から検討する報告を設定し、続けて、慶長年間以降の山陰地域における本支城体制に関する報告を実施した。また、富田川河床遺跡6次調査の成果について報告し、研究事業全体の総括をおこなった。個別の調査では、①出雲地域を中心とする文献資料の収集・整理に継続して着手し、②富田川河床遺跡の出土遺物整理作業（実測、トレース、撮影ほか）を進め、③安来市広瀬町の城館遺構調査を実施した。

〔担当者〕田村、目次、廣江、守岡、倉恒

〔客員研究員〕中井均（元滋賀県立大学）、山本浩樹（龍谷大学）、長谷川博史（島根大学）

3) 検討会

第5回検討会（2023年11月8日（水） 於：島根県埋蔵文化財調査センター）

〔研究報告〕

山根正明「熊野城と意宇川河谷の山城－陣城の視点から－」

大川泰広「因幡の城館と戦争－西因幡を中心に－」

岡寺 良「永禄期の九州北部における陣城遺構」

秋本哲治「安芸郡山城周辺の陣跡群」

参加者：客員研究員2名、指導者6名、職員6名、県内・鳥取県関係機関職員4名

第6回検討会（2024年3月18日（月） 於：島根県埋蔵文化財調査センター）

〔研究報告〕

長谷川博史「尼子氏の戦争と山陰地域」

山本浩樹「毛利・織田戦争と山陰地域」

中井 均「慶長5年の本支城体制と山陰地域」

守岡正司・廣江耕史「富田川河床遺跡6次調査の成果」

参加者：客員研究員3名、指導者5名、職員6名、県内・鳥取県関係機関職員5名

4) 資料調査等

通年：富田川河床遺跡第6次調査出土資料整理作業

2023年4月14日 広瀬町宗松寺裏城館跡現地調査（安来市広瀬町）

2023年10月1日 島根県立古代出雲歴史博物館館蔵中世史料検討会（同館）

(3) 島根の前期古墳

1) 目的

古代文化センターでは、令和元年度から考古基礎資料調査研究（墓制調査）で松江市鹿島地域を対象に前期古墳研究を進めてきた。これらの成果を踏まえ、島根県域の古墳出現の画期の抽出、弥生時代から古墳時代への社会変化、地域間交渉の実態などから、島根県域における前期古墳・古墳時代前期社会の特質を明らかにす

ることを目的とする。

2) 活動概要

研究2年目の今年度は、検討会を2回実施した。第3回検討会では、島根県域の古墳群の動向、集落の動向、鳥取県の前期古墳の検討、近畿からみた山陰の前期古墳の諸相について検討したほか、古代史の観点から鹿島地域（佐太国）の状況も検討、意見交換を行った。第4回検討会では、古墳時代前期の玉類の生産と副葬、玉作工房出土土器の検討、石製品、鉄器の生産・流通等にかかわる様相を確認し、意見交換を行った。また、古墳時代前期の玉類の生産について、玉作工房出土土器の検討、玉の未製品などの実見・検討から意見交換を行う指導会も実施した。

〔担当者〕 吉松、東森、榊原、松尾、仁木、椿

〔客員研究員〕 北條芳隆（東海大学）、高田健一（鳥取大学）、岩本 崇（島根大学）、廣瀬 覚（奈良文化財研究所）

3) 検討会

第3回検討会（2023年10月8日、9日 於：埋蔵文化財調査センター）

〔研究報告〕

吉松優希「島根県域の前期古墳群について」

東森 晋「島根県域の古墳時代前期集落動向」

高田健一「鳥取の前期古墳」

廣瀬 覚「近畿からみた山陰の前期古墳―埴輪・葺石を中心に―」

平石 充「古代の佐太国」

参加者：客員研究員4名、関係機関6名、県職員8名

第4回検討会（2023年3月21日 於：埋蔵文化財調査センター）

〔研究報告〕

米田克彦「弥生・古墳時代移行期の玉生産と玉類副葬」

松山智弘「出雲地域における玉作工房出土土器の検討」

吉松優希「堀部1号墳の測量調査」

北條芳隆「花仙山産碧玉を素材とする石製品」

池淵俊一「山陰の古墳時代前半期鉄器に関する諸問題」

参加者：客員研究員4名、指導者1名、関係機関4名、県職員6名

調査指導会（2023年8月25日 於：埋蔵文化財調査センター）

松山智弘「出雲の玉作遺跡出土の土器について」

参加者：客員研究員1名、指導者1名、関係機関4名、県職員6名

4) 資料調査等

2023年4月5日 雲南市斐伊中山古墳群出土資料 雲南市

2023年5月1日～2日 大田市庵寺古墳群出土資料、雲南市土井・砂遺跡出土資料
島根県埋蔵文化財調査センター

2023年5月10日 雲南市松本古墳群出土資料 島根県立古代出雲歴史博物館

2023年5月15日～18日 大田市庵寺古墳群出土資料、雲南市土井・砂遺跡出土資料
島根県埋蔵文化財調査センター

2023年5月26日 雲南市松本古墳群出土資料 島根県立古代出雲歴史博物館

2023年6月5日 大田市安養寺古墳群出土資料 大田市

2023年8月8日 松江市社日古墳出土資料 島根県立八雲立つ風土記の丘

2023年8月18日 松江市出雲玉作跡出土資料 松江市立玉作資料館

2023年8月28日～29日 雲南市神原正面遺跡群出土資料 雲南市

2023年9月6日 安来市八幡山古墳出土資料 安来市立歴史資料館

2023年9月20日 雲南市松本古墳群出土資料 島根県立古代出雲歴史博物館

2024年1月17日 松江市出雲玉作跡出土資料 松江市立玉作資料館

(4) 鋳物と鋳物師の研究

1) 目的

第一に、島根県内と他地域で鋳造遺跡や鋳物生産の様相を比較検討する。既存のテーマ研究の成果を活用しながら、鋳鉄素材の動きと鋳物生産の関係を分析する。次に、出雲宇波・石見市山等、鋳物師の製品や関連資料を収集し分析を加える。他県の類例も調査・比較し、鋳物生産の実態を探る。第三に、県内鋳物師相互の関係や地域社会との関わり、近世に鋳物師達を統括した京都真継家との結びつきを分析する。他地域との比較等を通じ、県内鋳物師の特色を解明する。

2) 活動概要

上記目的の1については、客員研究員の指導・協力を得て出雲宇波を主に中世から近代の銅鐘調査を実施したほか、宇波鋳物師や倉吉市斎江家の関連史料等を調査した。同じく1と3に関して、富山県高岡市で山陰地域産の鋳造原料鉄に関連する史資料を調査するなどして他地域の鋳物生産史に対する理解をより深め、島根県との相対的な分析に取り組んだ。

2回の客員検討会では比較検討を含む諸報告を通じて、島根県の鋳物生産の実態や鋳物師の特色について議論を行った。また、将来的な展示を念頭に、機会を捉えて鋳造関連資料の新たな調査に努めた。

〔担当者〕 目次、矢野、廣江、土橋、松尾、東山

〔客員研究員〕 五十川伸矢（元京都橋大学）、三船温尚（富山大学）、鳥谷智文（松江工業高等専門学校）、村木二郎（国立歴史民俗博物館）、角田徳幸（雲南市教育委員会）

3) 検討会

第3回検討会（2023年9月9日（土） 於：島根県古代文化センター）

〔研究報告〕

鈴木康之氏（県立広島大学）「草戸千軒町遺跡およびその周辺地域における中世煮炊具の変遷」

北島大輔氏（山口市文化財課）「中世山口における調理具の材質的動向 ―鍋・釜を中心として―」

五十川伸矢「紹介 京都市山科区安祥寺鐘の実物観察」

鳥谷智文「松江藩釜甌方の史料と研究3 ―釜甌方の系譜をひく 鋳物業者の基本的な経営概要―」

目次謙一「古代・中世における「鋳物師」呼称の変遷」

参加者：客員研究員5名、指導者2名、県職員7名

第4回検討会（2024年2月29日（日） 於：島根県古代文化センター）

〔研究報告〕

武知邦博氏（枚方市立旧田中家鋳物民俗資料館）「河内国鋳物師田中家の製品と経営の変遷」

目次謙一「中世から近代の出雲国宇波鋳物師とその性格」

土橋由奈「近代島根における鋳物業の様相―松江・遠所家を主として―」

参加者：客員研究員5名、指導者1名、県職員7名

4) 資料調査等

2023年6月11日 旧田中家鋳物民俗資料館（大阪府枚方市）・寝屋川市内寺院銅鐘（同寝屋川市）

2023年7月31日 雲南市内寺院銅鐘（雲南市）

2023年8月21日 株式会社能作（富山県高岡市）

2023年8月22日 高岡市立博物館所蔵文書（富山県高岡市）

2023年8月23日 鋳物資料館・高岡市デザイン工芸センター・株式会社老子製作所・株式会社平和合金・富山大学芸術文化学部（いずれも富山県高岡市）

2023年8月24日 伏木北前船資料館（富山県高岡市）

2023年9月10日 安来市内寺院銅鐘等（安来市）

2023年9月11日 古代出雲歴史博物館収蔵銅鐘・出雲市内寺院銅鐘（出雲市）

2023年11月17日 出雲市内寺院銅鐘（出雲市）

2023年12月8日 可部屋集成館所蔵櫻井家文書（奥出雲町）

2023年12月18日 松江市松江城・史料調査課収蔵文書（松江市）

2024年1月16日 宇波交流センター所蔵資料・安来市立歴史資料館収蔵文書（安来市）

2024年2月7日 安来市立歴史資料館収蔵文書（安来市）

2024年3月6日・7日 倉吉博物館所蔵斎江家文書（鳥取県倉吉市）

(5) 律令制下における地方行政の研究

1) 目的

昨年度、『出雲国風土記』校訂・注釈編が完成した。こうした成果を踏まえ、律令制下における地方行政の特質を分析する。①「出雲国計会帳」などの帳簿類の分析から、地方行政における国（国司）の役割や、国と郡との特殊な関係を明らかにする。②出雲国府跡などの発掘調査成果に基づき、地方行政の拠点たる国府（その周辺も含む）の景観を復元し、あわせて国府による労働力編成についても議論する。③官衙遺跡の集成を通じて、各郡の成立過程や郡内の分割統治のあり方を検討する。

2) 活動概要

研究1年目の今年度は、検討会を2回実施した。第1回検討会では、古代地方行政に関する研究史の整理、出雲国府跡発掘調査成果の総括、官衙関連遺跡の集成を行い、今後の課題や論点を共有した。第2回検討会では、地方官衙出土木簡や島根県出土の陶硯の特徴などについて確認し、意見交換を行った。また、県内出土遺物の資料調査を適宜実施した。

〔担当者〕 橋本、平石、久保田、岩崎、榊原

〔客員研究員〕 大橋泰夫（島根大学）、鐘江宏之（学習院大学）、田中広明（埼玉県埋蔵文化財調査事業団）、森 公章（東洋大学）

3) 検討会

第1回検討会（2023年9月14日 於：埋蔵文化財調査センター）

〔研究報告〕

橋本 剛「律令制下における地方行政に関する研究の現状と課題」

平石 充「『出雲国風土記』の国庁・郡家・軍団・烽・戍・剽」

吉松優希「発掘調査からみた出雲国府」

榊原博英「島根の古代官衙と関連遺跡（1）」

参加者：客員研究員4名、県職員9名

第2回検討会（2024年3月4日 於：埋蔵文化財調査センター）

〔研究報告〕

田中広明「島根県の陶硯と腰帯（1）」

榊原博英「島根の古代官衙と関連遺跡（2）」

森 公章「地方官衙遺跡出土木簡の概要とその特色」

参加者：客員研究員4名、県職員8名

4) 資料調査等

2023年12月6日 松江市芝原遺跡出土資料、松江市恵曇収蔵庫

2024年2月13日～14日 島根県調査の陶硯、島根県埋蔵文化財調査センター

(6) 幕末維新期の島根における地域社会の変容

1) 目的

幕末維新期の地域社会の変容と近代の成立過程を、出雲・石見・隠岐の歴史のおよび地域的な特色について、以下の点に注目し、具体的に明らかにする。① 出雲：幕末松江藩の動向と地域社会、② 石見：幕長戦争と津和野・浜田・銀山、③ 隠岐：隠岐騒動と廃仏毀釈、こうした歴史のかつ地域的な特色を有した幕末期の各地域が、「島根県」へと再編されていく過程における地域社会の変容を解明することで、島根の明治維新期の具体像の提示を目指す。

2) 活動概要

今年度はまず、中世・近世史料の多角的調査研究の成果確認や研究史の整理を目的とし、第1回共同検討会で報告と議論を行った。第2回検討会では、浜田市を会場に、浜田藩、浜田城跡、幕長戦争、浜田県に関する報告

を得て、幕末維新期の石見について議論を深めた。

島根における幕末維新期の史料に関しては、島根県立図書館、島根県立古代出雲歴史博物館、島根県公文書センター、松江市松江城・史料調査課、松江歴史館、浜田市文化スポーツ課が所蔵する史料を調査している。これらにより研究の基礎的情報を収集・整理するとともに、検討会での報告・議論を通じて理解を深めた。

〔担当者〕 矢野、田村、岡、伊藤、石山、中安、土橋

〔客員研究員〕 岸本 覚（鳥取大学）、錦織 稔之（島根大学）、今村 直樹（熊本大学永青文庫研究センター）

天野 真志（国立歴史民俗博物館准教授）

〔調査協力者〕 小杉紗友美（津和野町教育委員会）、岩崎ことい（隠岐の島町教育委員会）

3) 検討会

第1回検討会（2023年10月14日 於：島根県立古代出雲歴史博物館）

〔研究報告〕

矢野健太郎「幕末維新期の島根における地域社会の変容」に関する研究動向について」

土橋由奈「幕末維新期の松江・浜田・津和野城」

矢野健太郎「石州口の戦いにおける浜田城自焼と長州藩の占領政策」

参加者：客員研究員4名、調査協力者2名、県職員7名

第2回検討会（2024年2月3日 於：石中央文化ホール）

〔研究報告〕

藤田大輔（浜田市文化スポーツ課）「幕末維新期の浜田城」

伊藤徳広「埋蔵文化財調査から見た明治維新期の島根県における各藩の様相」

鍵本俊朗（浜田市文化スポーツ課）「浜田藩概略」

岡 宏三「長州戦争の評価の再検討 ～松江藩領を中心に～」

矢野健太郎「史料紹介「県治要領」（浜田県）にみる初期県政の状況」

参加者：客員研究員4名、調査協力者1名、浜田市職員4名、県職員8名

4) 資料調査等

2023年8月5日・10月15日 島根県立図書館

2023年8月29日 松江市松江城・史料調査課

2023年8月31日 松江歴史館

2023年9月6日・2024年2月4日、14日 浜田市文化スポーツ課

2023年9月26日、29日・11月9日、27日 島根県公文書センター

2023年10月14日・11月2日、21日・2024年1月22日 島根県古代出雲歴史博物館

〔3〕古代歴史文化に関する共同調査研究（14県連携：古代歴史文化協議会）

古代歴史文化にゆかりの深い14県が互いに連携して、個々の地域的な研究だけでは見えにくかった日本の大きな古代史の流れを解明することを目的に、平成26年に古代歴史文化協議会を設立。以来、共同で調査研究を行い、その成果を生かしてシンポジウムや展覧会などを開催し、全国に向けて情報発信を行っている。島根県知事が協議会会長をつとめており、島根県古代文化センターは協議会事務局として活動の総務を担当する。平成26～30年度は研究テーマを「古墳時代の玉類」とし、平成30年度には成果図書の刊行、展覧会の開催などを行った。令和元～4年度は「古墳時代の刀剣類」をテーマとして、第2期の共同調査研究を行い、令和4年度に成果図書の刊行、展覧会の開催などを行った。今年度からは体制を8県に改めて、テーマを「古墳時代の中央と地域」として、共同調査研究を行っている。今年度の活動内容は以下のとおり。

① 研究集会

・第17回研究集会（2023年9月12日～9月13日、岡山県庁分庁舎、岡山県立博物館）

基調講演、各県報告、運営会議

参加職員 池淵、平石、東森、岩井、吉松

② 担当者Web会議

必要に応じてWeb会議による協議、意見交換をおこなった。

- ・第10回担当者Web会議（2023年5月10日）研究内容、運営体制、事業計画の協議
- ・第11回担当者Web会議（2023年7月21日）研究内容、研究集会、ミニ講演会の協議
- ・第12回担当者Web会議（2024年3月）次年度成果発信、第4期事業の検討、協議

③ 中間研究発表会

研究集会の基調講演・各県報告を収録し、Web公開する「ミニ講演会」を開催。

- ・日 時 2023年9月12日（火）収録、2024年3月より公開
- ・主 催 古代歴史文化協議会
- ・内 容 基調講演「古墳時代の王権と地域」菱田哲郎氏（京都府立大学教授）
各県報告 埼玉県「稲荷山古墳からみた中心と地域」中井歩氏（埼玉県立さきたま史跡の博物館）
奈良県「ウツナベ古墳の新知見」小栗明彦氏（奈良県立橿原考古学研究所）
和歌山県「墓制の比較からみる岩橋千塚古墳群と周辺古墳の動態」
仲辻慧大氏（和歌山県文化遺産課）
鳥取県「鳥取県内古墳調査研究事業」小口英一郎氏（鳥取県埋蔵文化財センター）
島根県「島根県における古墳時代の墳形の選択性」吉松優希（島根県古代文化センター）
岡山県「鉄生産に関わる品々が出土する古墳の分布」
藤井雅大氏（岡山県古代吉備文化財センター）
佐賀県「銅鏡からみた佐賀県における社会変化—弥生時代から古墳時代—」
村松洋介氏（佐賀県文化課文化財保護・活用室）
宮崎県「古墳時代の南九州と中央」東憲章氏（宮崎県埋蔵文化財センター）
（池淵・平石・東森・岩井・金崎・吉松）

■古代文化情報発信事業

〔1〕各種講座・シンポジウム

1. 島根の歴史文化講座＋オンライン（会場での講座＋オンライン配信）※会場はいずれも松江テルサ

テーマ「どこかで誰かに話したくなる島根の歴史」

- 第1講「ここまでわかった『出雲国風土記』」 講師：橋本 剛 日時 9月2日 会場参加202人
オンライン配信 2023年9月29日～ 推定視聴者数 9.2万人 視聴回数13万回（2月29日現在）
- 第2講「なべとかま」 講師：鳥谷智文氏 日時 9月23日 会場参加127人
オンライン配信 2023年10月22日～ 推定視聴者数 2,885人 視聴回数3,702回（2月29日現在）
- 第3講「古墳時代のはじまりと山陰」 講師：島根大学教授 岩本崇氏 11月26日 会場参加145人
オンライン配信 2022年12月16日～ 推定視聴者数 15,462人 視聴回数3.9万回（2月29日現在）
- 第4講「島根にはじまる明治維新」 講師：岡宏三・矢野健太郎 日時12月10日 会場参加128人
オンライン配信 2023年1月13日～ 推定視聴者数 1,706人 視聴回数3,146回（2月29日現在）

2. 隠岐国巡回講座（＋オンライン配信）

第25回講座「後鳥羽上皇と隠岐」 田村 亨

9月17日 隠岐島文化会館 会場参加51人

オンライン配信 2023年10月31日～ 推定視聴者数3,316人 視聴回数4,893回（2月9日現在）

3. 石見国巡回講座（＋オンライン配信）

第22回講座「海の武士・都野氏と江津・都野津」 東京大学史料編纂所准教授 西田友広氏

10月28日 江津市 総合市民センター 60人

オンライン配信 2023年12月22日～ 推定視聴者数1,090人 視聴回数1,842回（2月29日現在）

4. 古代出雲文化シンポジウム（オンライン配信・ケーブルテレビ放映）

出雲国風土記を読み解く 11月4日 東京 有楽町朝日ホール 会場参加631人

基調講演「古代出雲と律令国家」 佐藤信氏（東京大学名誉教授）

報告1「出雲国造の神話と思想」伊藤剣氏（明治大学准教授）

報告2「『常陸国風土記』VS『出雲国風土記』」 兼岡理恵氏（千葉大学教授）

パネルディスカッション「古墳と伝承から古代出雲の真相に迫る」

パネラー：伊藤剣氏・兼岡理恵氏・平石充 司会：佐藤信氏

オンライン配信 2024年1月30日～ 推定視聴者数1,846人 視聴回数1.7万回（2月29日現在）

県内ケーブルテレビ放映 2024年3月

〔2〕刊行物その他

1 刊行物

①『古代文化研究』第32号 2024年3月刊 A4版

②『しまねの古代文化』第31号 2024年2月刊 A5版

・古代文化センター研究論集

③第32集『古代隠岐の形成と特質』 2024年3月刊行 A4版

④第33集『伊勢と出雲』 2024年3月刊行 A4版

・古代文化センター調査研究報告書

⑤第58集『富田川河床遺跡の研究』 2024年3月刊行 A4版

2 WEB情報発信（<https://shimane-kodaibunka.jp/>）

古代文化センターHP「歴史文化しまね」では定期的なコンテンツの更新を実施、講座・シンポジウムの動画の視聴ができる。

① 連載コラム「いまどき島根の歴史」 島根県の歴史文化に関するトピックを取りあげた1000文字程度の読み物。今年度末の時点で、計44本のコラムを掲載した。

② ブログ「研究員の日記」日常の調査研究での出来事や、こぼれ話などに関する日記風の読み物。

今年度末の時点で、計16件の投稿をおこなった。

③ 動画「しまこだチャンネル」ストーリー性のある5～10分間程度の動画で、インターネット上の動画サイトで公開。

今年度末の時点で、「しまね最古級の前方後方墳？名分丸山1号墳の謎を追う」「幻のたたらの調査!?調査員が徹底解説!」「風土記の神名樋山」の計3本を公開した。

3 その他の情報発信

山陰中央新報への記事提供

「いまどき、島根の歴史」（火曜日文化欄に連載）

2023年4月4日（第255号）～2024年3月26日（第298号）掲載。現在継続中。

執筆者：池淵・平石・目次・東森・矢野・浅沼・吉松・橋本・田村・野々村・廣江・榊原・土橋

〔3〕古代歴史文化賞後継事業 ※令和4年度で終了した古代歴史文化賞の後継事業

1 古代歴史文化賞特別賞受賞記念展覧会

「古代を描く―考古イラストレーター早川和子の世界―」

島根県立古代出雲歴史博物館 会期 令和5年6月2日（金）～6月18日（日） 入館者数2940人

2 しまねの古代文化連続講座 ※会場はいずれも東京日比谷コンベンションホール

第1講「石見の人麻呂と大和の人麻呂」 講師：山陰万葉を歩く会会長 川島美美子氏 日時 8月11日

会場参加173人 オンライン配信 2024年3月開始予定

第2講「防人の歌」 講師：大谷雅夫氏 日時 8月19日 会場参加117人

オンライン配信 2024年3月開始予定

第3講「柿本人麻呂と世界文学」 講師：青山学院大学教授 小松靖彦氏 10月1日 会場参加113人

オンライン配信 2024年3月開始予定

3 しまねの古代文化探訪ツアー「『万葉集』の歌聖柿本人麻呂ゆかりの地へ」

2023年10月22日～24日 参加人数19人 22日見学地 高津柿本神社・大崎鼻灯台ほか、23日物部神社・石見銀山ほか、24日萬福寺・津和野城・堀家庭園ほか

古代文化センター職員の研究・普及活動

池淵 俊一（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史262「弥生時代のかんがい用水路」『山陰中央新報』 2023年6月6日
- ② いまどき島根の歴史273「出雲と越－『出雲国風土記』の移住伝承から－」『山陰中央新報』 2023年8月29日
- ③ いまどき島根の歴史285「出雲郷のルーツ」『山陰中央新報』 2023年11月28日
- ④ いまどき島根の歴史297「埴輪からみた6世紀の出雲」『山陰中央新報』 2024年3月12日
- ⑤ 「山陰からみた弥生時代鉄器研究の現状と課題」『考古学ジャーナル』787 ニューサイエンス社 2023年10月
- ⑥ 「弥生・古墳時代の日本海交流と出雲」『新視点 出雲古代史－文献史学と考古学－』平凡社 2024年1月17日

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 島根の前期古墳 第3回検討会「山陰の古墳時代前半期鉄器に関する諸問題」 2024年3月15日

3. 学会発表・講演等

- ① まつえ市民大学「墓制からみた山陰の弥生・古墳時代」 2023年6月2日 参加24名
- ② 島根県埋蔵文化財調査センター専門研修「出雲出土の吉備系土器について」 2023年9月8日
- ③ 考古学研究会合同例会・第61回東京例会「6・7世紀の出雲平野における水利開発と古墳築造動向」 國學院大學 2023年10月14日
- ④ 「友田墳墓群の基礎的検討」第1回田和山遺跡AR・VR事業検討会 松江市 2023年11月10日 参加11名
- ⑤ 島根の歴史文化講座＋オンライン「古墳時代のはじまりと山陰」パネラー 参加145名（当日会場参加者のみ）

6. 調査指導・職員派遣等

- ① 田和山遺跡AR・VR事業にかかる検討会への出席 松江市埋蔵文化財調査課 2023年11月10日・2024年1月19日

平石 充（日本古代史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史255「黄泉の穴」『山陰中央新報』 2023年4月4日
- ② いまどき島根の歴史274「奈良時代、三瓶山は出雲国・石見国？」『山陰中央新報』 2023年9月5日
- ③ いまどき島根の歴史284「謎の伯大川」『山陰中央新報』 2023年11月21日
- ④ いまどき島根の歴史298「津間抜池」『山陰中央新報』 2024年3月26日
- ⑤ 「古代神門郡の灌漑水利と風土記社」『出雲古代史研究』33 2023年8月12日
- ⑥ 「風土記の軍防記載」『新視点 出雲古代史－文献史学と考古学－』平凡社 2024年1月17日
- ⑦ 「古代隠岐の人口と水産物貢納」『古代隠岐の形成と特質』島根県古代文化センター研究論集32 島根県古代文化センター 2024年3月31日
- ⑧ 「杵築大社の在地奉斎体制」『伊勢と出雲』島根県古代文化センター研究論集33 島根県古代文化センター 2024年3月31日

2. 研究報告等

- ① 基礎研究 風土記調査事業「『出雲国風土記』大原郡に関する研究史」 2023年9月23日
- ② テーマ研究 律令制下における地方行政の研究 第1回検討会「『出雲国風土記』の国庁・郡家・軍団・烽・戌・剽」 2023年9月14日
- ③ テーマ研究 島根の前期古墳 第3回検討会「古代の佐太の国」 2023年10月9日

3. 学会発表・講演等

- ① 「古代出雲を知る ～意宇郡（松江市南部）を中心に～」 東部県民センター職員講習 2024年2月21日 参加40名

4. 展示活動

- ① 企画展「誕生、隠岐国」(副担当) 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年3月22日～5月19日

5. 外部委員・講師等

- ① 出雲市出雲国山陰道跡保存活用計画策定委員会委員 2023年4月～2024年3月
- ② 島根大学ジオパーク学各論「『出雲国風土記』とジオパーク」 2023年12月18日

7. 普及活動

- ① 心に残る文化財子ども塾「古代の宍道町」 松江市立宍道小学校 2023年7月7日

目次 謙一(中世史)

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史259「初夏の石見路をゆく」『山陰中央新報』 2023年5月9日
- ② いまどき島根の歴史267「最古の鐘 なぜ大阪へ」『山陰中央新報』 2023年7月11日
- ③ いまどき島根の歴史280「浦もち衆 都野氏」『山陰中央新報』 2023年10月24日
- ④ いまどき島根の歴史291「櫻井家の鋳物づくり」『山陰中央新報』 2024年1月23日
- ⑤ 共著『富田川河床遺跡の研究』島根県古代文化センター調査研究報告書58 島根県古代文化センター 2024年3月31日

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 鋳物と鋳物師の研究 第3回検討会「古代・中世における「鋳物師」呼称の変遷」 2023年9月9日
- ② テーマ研究 鋳物と鋳物師の研究 第4回検討会「中世～近代の出雲国宇波鋳物師とその性格」 2024年2月29日

3. 学会発表・講演等

- ① 令和5年度いづも財団公開講座第2回「西遷御家人と出雲大社三月会」「出雲大社を支えた人々と当番役の輪番制」 大社文化プレイスうらら館 2023年7月22日 参加58名
- ② 島根の歴史文化講座+オンライン どこかで誰かに話したくなる島根の歴史 第2講「なべとかま～たたら鉄がささえた台所～」 松江テルサ 2023年9月23日 参加127名
- ③ 令和5年度 鋳造技術者初級研修事業 「たたら製鉄と山陰の鋳物師」 しまね産業振興財団 研修室 2023年10月13日 参加27名

6. 調査指導・職員派遣等

- ① 「(仮称)中世雲南市域関係資料集」作成業務への調査協力 雲南市教育委員会 2022年10月1日～2024年3月31日

7. 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「学校周辺の遺跡と奈良の大仏」 浜田市立松原小学校 2023年7月13日

東森 晋(考古学)

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史258「大城遺跡の弥生土器」『山陰中央新報』 2023年4月25日
- ② いまどき島根の歴史266「弥生時代の高地性集落」『山陰中央新報』 2023年7月4日
- ③ いまどき島根の歴史277「知られざる雲南の遺跡」『山陰中央新報』 2023年9月26日
- ④ いまどき島根の歴史289「中国山地のネットワーク」『山陰中央新報』 2024年1月9日
- ⑤ 「海士町竹田遺跡発掘調査資料について」『古代文化研究』32 島根県古代文化センター 2024年3月31日

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 島根県域における弥生社会の総合的研究 第5回検討会「島根県の弥生集落—中期から後期—」 2023年11月3日
- ② テーマ研究 島根の前期古墳 第3回検討会「島根県域の古墳時代前期集落動向」
- ③ テーマ研究 島根県域における弥生社会の総合的研究 第6回検討会「令和6年度古代出雲歴史博物館企画展示について」 2024年3月17日

3. 学会発表・講演等

- ① 妻木晩田ボランティアガイドの会研修会「妻木晩田のころの出雲・隠岐」 米子市文化ホール小会議室 2024年1月21日 参加30名

7. 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「遺跡・建造物・遺物から古代の技術を知る」 松江市立持田小学校 2023年6月30日

矢野 健太郎（日本近世史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「温泉津に伝わる長州藩「郡中緒制法」」『石見銀山研究』3 2023年11月
② 「コメント 近世後期萩藩の普請仕法の事例から」『永青文庫研究』7 2024年3月
③ 「幕末維新期の石見国における長州藩民政と民心収攬」『古代文化研究』32 2024年3月
④ いまどき島根の歴史275「「花押」ってどう描いた?!」『山陰中央新報』 2023年9月12日
⑤ いまどき島根の歴史283「「乃木家」ほんとは「櫻井家」」『山陰中央新報』 2023年11月14日

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 幕末維新期の島根における地域社会の変容 第1回検討会「石州口の戦いにおける浜田城自焼と長州藩の占領政策」 2023年10月14日
② テーマ研究 幕末維新期の島根における地域社会の変容 第2回検討会「史料紹介「県治要領」（浜田県）にみる初期県政の状況」 2024年2月4日

3. 学会発表・講演等

- ① 島根の歴史文化講座「長州藩の石見銀山奪還」 松江テルサ 2023年12月10日 参加128名
② 竹矢公民館 わがまち歴史講演会「竹矢村年貢割付状からみる近世の竹矢」 竹矢公民館 参加30名 2024年3月19日

4. 展示活動

- ① 企画展「しまね×交通クロニクルー北前船からフォードまでー」（副担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2023年7月7日～9月3日

7. 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「古代のお金と和同開珎」 大田市立第三中学校 2023年6月28日
② 心に残る文化財子ども塾「奈良時代と奈良の大仏」 大田市立志学小学校 2023年6月30日

石山 祥子（民俗学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史279「出雲神楽の不可欠な道具」『山陰中央新報』 2023年10月17日
② いまどき島根の歴史290「出雲に伝わる北陸由来の獅子舞」『山陰中央新報』 2024年1月16日
③ 映像「熊山三寶大荒神式年神楽 御誕生祭」記録編 島根県古代文化センター 2023年9月

3. 学会発表・講演等

- ① キラキラ雲南文化講座「出雲神楽とその仮面」 古代鉄歌謡館 2023年11月11日 参加10名

4. 展示活動

- ① 企画展「出雲神楽」（主担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2023年3月24日～5月21日

5. 外部委員・講師等

- ① 松江市文化財保護審議会委員 2021年9月～
② 松江市文化財保存活用地域計画協議会委員 2023年4月～

6. 調査指導・職員派遣等

- ① 佐陀神能用具等修理・新調事業 現地指導 2023年12月15日
② 第23回「郷土芸能の集い」伝承芸能部門審査員 2023年12月17日

7. 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「奈良時代と奈良の大仏」 大田市立志学小学校 2023年6月30日

浅沼 政誌（民俗学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史261「江津山中集落の狩猟儀礼」『山陰中央新報』 2023年5月30日
② いまどき島根の歴史272「盆行事と盆踊り」『山陰中央新報』 2023年8月22日
③ いまどき島根の歴史282「中海の赤貝とそりこ舟」『山陰中央新報』 2023年11月7日
④ いまどき島根の歴史295「島根半島沿岸の漁撈用具」『山陰中央新報』 2024年2月27日
⑤ 記録映像『榎の屋神楽（舞所設営、清目、八乙舞、須佐遷宮）』2022年撮影 2023年12月
⑥ 記録映像『榎の屋神楽（八戸 古式大蛇、奏楽）』2023年撮影 2024年3月

3. 学会発表・講演等

- ① 雲南市歴史文化講座「出雲神楽と石見・隠岐神楽」 雲南市古代鉄歌謡館 2023年7月8日 参加20名

5. 外部委員・講師等

- ① 鳥取県立博物館協議会委員
② 出雲市文化財保護審議会委員
③ 雲南市文化財保護審議会委員
④ 浜田市文化財保護審議会委員、資料館運営協議会委員
⑤ 松江市ホーランエンヤ伝承館運営協議会委員
⑥ 公益財団法人いづも財団助成事業助成金交付選定委員
⑦ 公益財団法人エネルギー文化・スポーツ財団助成・顕彰選考委員

吉松 優希（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史257「出雲国府政庁域の前庭はなぜ狭い」『山陰中央新報』 2023年4月18日
② いまどき島根の歴史265「名分丸山1号墳と日本海」『山陰中央新報』 2023年6月27日
③ いまどき島根の歴史278「雲南の前期古墳」『山陰中央新報』 2023年10月3日
④ いまどき島根の歴史288「砥石の存在」『山陰中央新報』 2023年12月19日
⑤ 「出雲国府跡出土小札のX線CT調査」『古代文化研究』32 島根県古代文化センター 2024年3月31日
⑥ 「大座1号墳出土遺物について」『古代隠岐の形成と特質』島根県古代文化センター研究論集32 島根県古代文化センター 2024年3月31日
⑦ 共著『誕生、隠岐国』（列品解説） 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年3月22日
⑧ 「松江市名分丸山1号墳の調査」『中四研だより』52 2023年9月30日
⑨ 「名分丸山1号墳の発掘調査」『島根考古学だより』109 2023年10月31日

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 律令制下における地方行政の研究 第1回検討会「発掘調査からみた出雲国府」 2023年9月14日
② テーマ研究 島根の前期古墳 第3回検討会「島根県域の前期古墳群について」 2023年10月8日
③ テーマ研究 島根県域における弥生社会の総合的研究 第5回検討会「石器（砥石）からみた出雲地域の鉄器化」 2023年11月3日
④ テーマ研究 島根の前期古墳 第4回検討会「堀部1号墳の測量調査」 2024年3月15日

3. 学会発表・講演等

- ① 令和5年度第1回にしえ倶楽部連続講座「名分丸山1号墳ー県内最古級の前方後方墳の調査ー」 グラントワ 多目的ギャラリー 2023年6月17日 参加27名
② 古代歴史文化協議会ミニ講演会「島根県における古墳時代の墳形の選択性」 オンライン開催 2023年9月12日
③ 島根考古学会1月例会「武器・馬具からみた古墳時代後期の出雲の領域性」 島根県民会館 2024年1月21日

日 参加10名

5. 外部委員・講師等

- ① 島根大学法文学部山陰研究センター客員研究員 2022年6月～2025年3月
- ② 考古学研究会全国委員 2023年4月～

6. 調査指導・職員派遣等

- ① 山陰研究プロジェクトにかかる調査 東北大学川内キャンパス 2024年3月17日～21日
- ② かしまの歴史・文化を学ぶ会 令和5年度見学会 2023年12月11日

7. 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「遺跡・建造物・遺物から古代の技術を知る」 松江市立持田小学校 2023年6月30日

橋本 剛（古代史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史256「『国印』と古代の地方行政」『山陰中央新報』 2023年4月11日
- ② いまどき島根の歴史263「出雲国府の元日朝拝」『山陰中央新報』 2023年6月13日
- ③ いまどき島根の歴史276「万葉集に歴史をみる」『山陰中央新報』 2023年9月19日
- ④ いまどき島根の歴史286「『出雲国風土記』郡司署名の謎」『山陰中央新報』 2023年12月5日
- ⑤ 「『出雲国風土記』地図写本編・校訂注釈編の刊行」『季刊文化財』157 島根県文化財愛護協会 2023年10月20日
- ⑥ 「書評と紹介 鐘江宏之著『律令制諸国支配の成立と展開』」『日本歴史』908 吉川弘文館 2024年1月1日
- ⑦ 「平安初期の出雲と神社行政」『伊勢と出雲』島根県古代文化センター研究論集33 島根県古代文化センター 2024年3月31日

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 律令制下における地方行政の研究 第1回検討会「律令制下における地方行政に関する研究の現状と課題」 2023年9月14日
- ② 基礎研究 大原郡の研究 第1回検討会「『出雲国風土記』大原郡条本文校訂の再検討」 2023年9月23日

3. 学会発表・講演等

- ① まつえ市民大学ふるさと探求コース「出雲と都を結ぶ古代山陰道」 松江市市民活動センター 2023年7月7日 参加37名
- ② 島根の歴史文化講座+オンライン「ここまでわかった『出雲国風土記』」 松江テルサ 2023年9月2日 参加202名
- ③ 朝日カルチャーセンター「因幡・伯耆の古代史」 オンライン 2023年11月28日 参加32名
- ④ 古代出雲文化フォーラムXI「出雲と備後を結ぶ道—『出雲国風土記』からみた—」 広島国際会議場 2024年3月9日 参加300名
- ⑤ 島根大学総合博物館アシカル講座「『出雲国風土記』からみた出雲と備後の交流」 島根大学松江キャンパス 2024年3月30日 参加70名

4. 展示活動

- ① 企画展「伊勢と出雲」（副担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2023年10月13日～12月10日

7. 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「竹矢小周辺の歴史と奈良の大仏」 松江市立竹矢小学校 2023年6月28日

田村 亨（中世史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史260「出雲国守護・安達親長」『山陰中央新報』 2023年5月16日
- ② いまどき島根の歴史271「連歌と中世社会」『山陰中央新報』 2023年8月15日
- ③ いまどき島根の歴史281「毛利軍の富田籠城」『山陰中央新報』 2023年10月31日

- ④ いまどき島根の歴史296「戦国時代の陣城」『山陰中央新報』 2024年3月5日
- ⑤ 「鎌倉前中期の造宮遷宮と幕府一杵築大社を中心にー」『伊勢と出雲』島根県古代文化センター研究論集33
島根県古代文化センター 2024年3月31日

3. 学会発表・講演等

- ① いずも財団公開講座「西遷御家人と出雲国」 大社文化プレイスうらら館 2023年7月22日 参加58名
- ② 第25回隠岐国巡回講座「後鳥羽上皇と隠岐」 隠岐島文化会館 2023年9月17日 参加51名
- ③ まつえ市民大学ふるさと探求コース「戦国時代山陰の戦乱と軍需物資」 松江市市民活動センター 2023年12月1日 参加24名

7. 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「竹矢小周辺の歴史と奈良の大仏」 松江市立竹矢小学校 2023年6月28日

野々村 安浩（古代史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史264「出雲国風土記受容のある姿」『山陰中央新報』 2023年6月20日
- ② いまどき島根の歴史287「古代の大量の紙」『山陰中央新報』 2023年12月12日
- ③ 『『出雲国風土記』編纂と受容、写本論の現在』『新視点 出雲古代史ー文献史学と考古学ー』平凡社 2024年1月17日
- ④ 共著「調査報告 出雲国風土記写本調査（20）」『古代文化研究』32 島根県古代文化センター 2024年3月31日

2. 研究報告等

- ① 基礎研究 大原郡の研究 第2回検討会『『出雲国風土記』本文校訂の再検討』 2024年3月23日

廣江 耕史（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史270「今も残る中世の町」『山陰中央新報』 2023年8月8日
- ② いまどき島根の歴史294「地下に埋もれた中世の港」『山陰中央新報』 2024年2月13日
- ③ 『富田川河床遺跡の研究』島根県古代文化センター調査研究報告書58 島根県古代文化センター 2024年3月31日

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 中世山陰の戦争と地域社会 第5回検討会「富田川河床遺跡出土の切銀」 2023年11月8日

榎原 博英（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史268「石見国府址の石碑」『山陰中央新報』 2023年7月18日
- ② いまどき島根の歴史292「江の川流域の鉄生産」『山陰中央新報』 2024年1月30日
- ③ 「特産品の開発と奨励 ①和紙生産、⑤たたら」『浜田藩ものがたり』NPO法人浜田芸術文化のまちづくり推進協会・山陰中央新報社 2023年11月10日
- ④ 「重要無形文化財 石州半紙について（一）」『古代文化研究』32 島根県古代文化センター 2024年3月31日

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 律令制下における地方行政の研究 第1回検討会「島根の古代地方官衙と関連遺跡（1）」 2023年9月14日
- ② テーマ研究 律令制下における地方行政の研究 第2回検討会「島根の古代地方官衙と関連遺跡（2）」 2024年3月4日

7. 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「古代の宍道町」 松江市立宍道小学校 2023年7月7日

土橋 由奈（近現代史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史269「近現代の歴史を辿った松平直政公像」『山陰中央新報』 2023年7月25日
- ② いまどき島根の歴史293「島根県内における近世城郭の行方」『山陰中央新報』 2024年2月6日

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 幕末維新期の島根における地域社会の変容 第1回検討会「幕末維新期の松江・浜田・津和野城」 2023年10月14日
- ② テーマ研究 鋳物と鋳物師の研究 第4回検討会「近代島根における鋳物業の様相－松江・遠所家を主として－」 2024年2月29日

7. 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「学校周辺の遺跡と奈良の大仏」 浜田市立松原小学校 2023年7月13日

品川 知彦（宗教社会／古代出雲歴史博物館学芸部長）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「伊勢と出雲－浦田長民の宗教思想を中心に－」『出雲と伊勢』島根県古代文化センター研究論集33 島根県古代文化センター 2024年3月31日
- ② 「出雲神楽をささえてきた貸出し屋」『月刊 みんぱく』2024年4月号 国立民族学博物館 2024年4月1日

3. 学会発表・講演等

- ① 社ガール年次総会講演会「出雲の風土と伝承」 荒木コミュニティセンター 2023年6月24日 参加30名
- ② 隠岐国分寺「観月会」歴史講座「蓮華会舞の魅力」 隠岐国分寺 2023年9月29日 参加40名
- ③ 第6回三館連携シンポジウム「近世以後の幽と顕をめぐって－伊勢・出雲・大和－」 大社文化プレイスうらら館 2023年11月19日 参加105名・オンライン100名

5. 外部委員・講師等

- ① 島根県立大学短期大学部非常勤講師 2023年4月～2023年9月
- ② 島根大学非常勤講師 2023年6月26日
- ③ 文化庁文化財第一課調査員 2023年4月～2024年2月
- ④ （公財）いづも財団助成事業助成金交付選定委員

守岡 正司（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 共著『富田川河床遺跡の研究』島根県古代文化センター調査研究報告書58 島根県古代文化センター 2024年3月31日

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 中世山陰の戦争と地域社会 第6回検討会「富田川河床遺跡第6次調査の成果」 2024年3月18日

3. 学会発表・講演等

- ① 令和5年度日本博物館協会中国支部研修会「情報発信と連携－島根県立古代出雲歴史博物館での事例－」 2023年11月30日 参加60名

4. 展示活動

- ① 古代歴史文化賞特別賞受賞記念「古代を描く考古イラストレーター早川和子の世界」（副担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2023年6月2日～6月18日
- ② 企画展「誕生、隠岐国」（副担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2024年3月22日～5月19日

6. 調査指導・職員派遣等

- ① 中世七尾城下町遺跡発掘調査指導会 益田市教育委員会 2023年5月22日

7. 普及活動等

- ① 出前授業「大仏パネルを作ろう」 出雲市立荒木小学校 2023年6月29日

- ② 心に残る文化財子ども塾「奈良の大仏」の巨大さと、込められた思い 出雲市立みなみ小学校 2023年7月14日

岡 宏三（近世史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 『出雲國造 北嶋家文書』（共編） 2023年7月25日
② 「杵築六ヶ村・宮内村の屋敷地の景観と荒神祭について―十七世紀前後を中心に―」『伊勢と出雲』島根県古代文化センター研究論集33 島根県古代文化センター 2024年3月31日
③ 「【史料紹介】佐草自清の寛文日記（二）」『古代文化研究』32 島根県古代文化センター 2024年3月31日
④ 「寛文の出雲大社大造宮と徳川幕府」『しまねの古代文化』31 島根県古代文化センター 2024年3月31日
⑤ 「水木しげると出雲」『水木しげる記念館公式ガイドブック』 2024年3月31日
⑥ 「江戸・明治の杵築参詣」山陰中央新報 2023年11月29日

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 幕末維新期の島根における地域社会の変容 第2回検討会「長州戦争の評価の再検討 ～在地史を中心に～」 2024年2月3日

3. 学会発表・講演等

- ① 島根県立図書館定例講座「古文書を読む会」 島根県立図書館 毎月第一金曜日 定員35人
② 第1回いづも財団公開講座「神仏修道のなかの杵築稲佐浜と日御碕」 大社文化プレイスうらら館 2023年5月20日 参加120名
③ 中国青色申告会連合会第40回女性部通常総会「ヤマタノヲロチと神楽」ニューウェルシティ 参加35名
④ ふるさと歴史講座「組頭飯島与九郎の勤めふりと平田」平田コミュニティセンター 2023年8月8日 参加50名
⑤ 第2回おもしろ出雲学講座in出雲「出雲そばの歴史」パルメイト出雲 2023年8月27日 参加25名
⑥ まつえ市民大学第7回ふるさと探求コース「中世大蛇神話と松江」まつえ市民大学 2023年9月5日 参加40名
⑦ 大社駅100年講演会「出雲への旅、江戸明治の参詣」出雲弥生の森博物館 2023年12月3日 参加50名
⑧ 島根の歴史文化講座2023 第4講島根にはじまる明治維新「長州藩の論理は正義か？」松江テルサホール 参加100名
⑨ 鰐淵コミュニティセンター文化講演会「飯島家の文化と昔の荒神祭」鰐淵コミュニティセンター 2024年2月15日 参加35名
⑩ ブロンズネットワーク講座「出雲大社周辺を歩く」出雲市大社町杵築東周辺 2024年3月9日 参加20名
⑪ 文化講座「寺院・仏像から探る古代中世の四絡」四絡コミュニティセンター 2024年3月23日

4. 展示活動

- ① ミニ企画「和歌と島根」（担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2023年4月19日～6月19日
② ミニ企画「古文書にみる出雲の歴史」（担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2023年6月21日～8月7日
③ ミニ企画「初公開 新発見の出雲国造北嶋家文書」（担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2023年8月9日～10月16日
④ ミニ企画「神在月と縁結び」（担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2023年10月18日～12月10日
⑤ 企画展「しまね×交通クロニクル」（副担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2023年7月7日～9月3日
⑥ 企画展「伊勢と出雲」（主担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2023年10月13日～12月10日

5. 外部委員・講師等

- ① 島根県立大学短期大学部非常勤講師 2023年4月～2024年3月
② 出雲市文化財保護審議会委員 2005年4月～
③ いづも財団助成事業審査委員 2014年4月～

中川 寧（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「北部九州と山陰の交流－土器と漆塗り木製品－」『古墳出現期土器研究』第10号 2023年12月
- ② 「連載私の町の博物館 島根県立古代出雲歴史博物館」『季刊邪馬台国』第144号、2024年1月
- ③ 企画展図録「誕生、隠岐国」（作品解説） 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年3月22日

2. 研究報告等

- ① テーマ研究 島根県域における弥生社会の総合的研究 第5回検討会「山陰における水田畦畔構築方法」
2023年11月3日

3. 学会発表・講演等

- ① 出雲高校プロフェッショナルセミナー課題研究「埋蔵文化財の仕事」 2023年11月9日 「土器を考える－使い方と変わり方－」 2023年12月7日 各回29名

4. 展示活動

- ① 古代歴史文化賞特別賞受賞記念「考古イラストレーター早川和子の世界 古代を描く」（主担当） 島根県立古代出雲歴史博物館 2023年6月2日～6月18日
- ② 企画展「誕生、隠岐国」（副担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2024年3月22日～5月19日

7. 普及活動等

- ① 出前授業「大仏パネルを作ろう」 出雲市立荒木小学校 2023年6月29日 60名
- ② 心に残る文化財子ども塾「奈良時代と奈良の大仏」 出雲市立四絡小学校 2023年7月4日 86名
- ③ 心に残る文化財子ども塾「奈良の大仏の巨大さと、込められた思い」 出雲市立みなみ小学校 2023年7月14日 13名
- ④ 心に残る文化財子ども塾「奈良時代と奈良の大仏」 浜田市立雲雀丘小学校 2023年9月29日 12名
- ⑤ 出前授業「プラスチック銅鐸を作ろう」 出雲市立大津小学校 2023年10月26日 22名

久保田 一郎（古代史）

1. 研究報告・映像資料等

- ① 「古代出雲の道路」『新視点出雲古代史－文献史学と考古学』平凡社、2024年1月17日
- ② 「隠岐の島町甲の原遺跡の出土遺物」『古代隠岐の形成と特質』島根県古代文化センター研究論集32 島根県古代文化センター 2024年3月31日
- ③ 共著「隠岐諸島の土師器に関する覚書」『古代隠岐の形成と特質』同上
- ④ 企画展図録「誕生、隠岐国」（執筆編集）島根県立古代出雲歴史博物館 2024年3月22日
- ⑤ 「出雲、隠岐の海産物貢納に関連する問題」『伊勢と出雲』島根県古代文化センター研究論集33 島根県古代文化センター 2024年3月31日

4. 展示活動

- ① 企画展「誕生、隠岐国」（主担当） 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年3月22日～5月19日

松尾 充晶（考古学）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① コラム「能登と出雲を繋ぐ海」『神社新報』第3628号 神社新報社 2023年4月27日
- ② コラム「松尾芭蕉の歩く旅」『神社新報』第3640号 神社新報社 2023年6月26日
- ③ コラム「忠魂碑と戦没者慰霊」『神社新報』第3652号 神社新報社 2023年9月25日
- ④ 「山陰地域における古墳時代の水のマツリ」『石川県埋蔵文化財情報』第49号 石川県埋蔵文化財センター 2023年9月30日
- ⑤ 企画展図録『伊勢と出雲』（執筆編集）島根県立古代出雲歴史博物館 2023年10月13日
- ⑥ 「古代出雲歴史博物館秋期企画展 伊勢と出雲」『季刊文化財』157 島根県文化財愛護協会 2023年10月20日
- ⑦ 「伊勢と出雲」『大社の史話』第216号 大社史話会 2023年11月10日
- ⑧ コラム「屋根裏のお札の霊力」『神社新報』第3664号 神社新報社 2024年1月1日

- ⑨ 「出雲の祭祀遺跡と神社」『新視点 出雲古代史－文献史学と考古学－』平凡社 2024年1月17日
- ⑩ 「地方有力神社成立の歴史的背景」『伊勢と出雲』島根県古代文化センター研究論集33 島根県古代文化センター 2024年3月31日
- ⑪ 「御師の活動からみた伊勢と出雲」『伊勢と出雲』同上

3. 学会発表・講演等

- ① 本居宣長記念館 宣長十講「伊勢と出雲・出雲大社」2023年6月17日 参加25名
- ② 大社国学館集約講義「神道史概説」2023年7月4～5日 参加6名
- ③ 第50回山陰考古学研究集会「山陰西部における古墳時代の渡来系遺物」2023年3月26日・27日 参加80名
- ④ 島根県神社庁出雲支部研修会「伊勢と出雲」 さとがた保育園 2023年12月16日 参加20名

4. 展示活動

- ① 企画展「伊勢と出雲」（主担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2023年10月13日～12月10日
- ② 企画展「誕生、隠岐国」（副担当）島根県立古代出雲歴史博物館 2024年3月22日～5月19日

藤原 宏夫（民俗学）

3. 学会発表・講演等

- ① 「神原神社の獅子舞について」 神原公会所 2023年5月20日 参加20名
- ② 平和の舞＜神楽の学校2023in呉＞「呉市に伝わる神楽について」 八岩華神社 2023年11月23日 参加600名
- ③ シマネスクくにびき学園講義「石見神楽の歴史と現在」 くにびき学園西部校 2024年1月16日 参加11名

5. 外部委員・講師等

- ① 島根大学部非常勤講師 2023年4月～2023年7月
- ② シマネスクくにびき学園西部校講師 2023年4月～2024年3月
- ③ 益田市文化財保護審議会委員 2020年4月～
- ④ 広島市阿刀神楽調査検討会議委員 2021年4月～

6. 調査指導・職員派遣等

- ① 神楽資料調査 市木公民館 2023年11月30日

7. 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「奈良時代と奈良の大仏」 出雲市立四絡小学校 2023年7月4日

澤田 正明（保存科学）

5. 外部委員・講師等

- ① 島根大学非常勤講師 2023年10月～2024年1月
- ② 科学研究費助成事業「材料科学および工芸技術からみた古墳出土金工品の総合的研究－藤ノ木古墳を中心に－」研究協力者（代表：奈良県立橿原考古学研究所 奥山誠義） 2021年4月～

中安 恵一（近世史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 企画展図録『しまね×交通クロニクルー北前船からフォードまで－』（執筆編集）島根県立古代出雲歴史博物館 2023年7月7日
- ② 共著「資料紹介 太田家文書と太田窯跡および瓦製作用具等について」『古代文化研究』32 島根県古代文化センター 2024年3月31日

3. 学会発表・講演等

- ① 「波根八幡宮の絵馬と日本海海運」波根むかし語りの会例会 2023年7月16日 波根まちづくりセンター 参加15名
- ② 「松江藩の町飛脚」まっえ市民大学 2023年8月22日 松江市民活動センター 参加31名
- ③ 「松江藩の交通制度と陸運・水運・人の往来」町誌から東出雲の歴史を学ぶ会 2023年10月22日 東出雲公民館 参加15名

- ④ 歴博入門講座「古文書の見かた・読みかた、教えます」 古代出雲歴史博物館 2024年1月20日 参加20名
- ⑤ 「北前船と馬路」地域を知る学習会 2024年2月25日 馬路まちづくりセンター 参加40名

4. 展示活動

- ① 企画展「しまね×交通クロニクル ―北前船からフォードまで―」（主担当）島根県立古代出雲歴史博物館
2023年7月7日～9月3日

濱田 恒志（美術史）

1. 論文・寄稿・映像資料等

- ① 企画展図録『誕生、隠岐国』（作品解説）島根県立古代出雲歴史博物館 2024年3月22日
- ② 「出雲市・高野寺観音菩薩立像と日蔵寺十一面観音菩薩立像について―近年再発見の出雲市内所在平安彫刻二例―」『古代文化研究』32 島根県古代文化センター 2024年3月31日
- ③ 共著「隠岐の島町・願満寺所蔵仏像群の再検討」『古代文化研究』32 同上
- ④ 「出雲の仏像・神像をめぐる「地域性」の問題―「神話の国」の古代彫像をどう考えるか―」『伊勢と出雲』島根県古代文化センター研究論集33 島根県古代文化センター 2024年3月31日
- ⑤ 共著「隠岐の島町・大光寺旧蔵の時宗肖像彫刻」『隠岐の文化財』41 2024年3月31日

3. 学会発表・講演等

- ① 第17回安来市歴史文化講座「仏像の基本―美しさ、歴史、そして意味―」 広瀬中央交流センター 2023年8月26日 参加27名
- ② 銀山領33ヵ寺巡る会歴史連続講座「甘南備寺の大鎧がたどった道―成立から近年の修理まで―」 江津市川越地域交流センター 2023年10月29日 参加55名
- ③ 歴博入門講座「仏像の基本―どこを見て、どう考えるのか?―」 古代出雲歴史博物館 2024年2月17日 参加20名

4. 展示活動

- ① 企画展「伊勢と出雲」（副担当）古代出雲歴史博物館 2023年10月13日～12月10日
- ② 新春ミニ企画「縁起ものの美術」（主担当）古代出雲歴史博物館 2023年12月20日～2024年2月5日
- ③ ミニ企画「お経をめぐるいとなみ―かく・かざる・つたえる―」（主担当）古代出雲歴史博物館 2024年2月7日～3月11日
- ④ 企画展「誕生、隠岐国」（副担当）古代出雲歴史博物館 2024年3月22日～5月19日

5. 外部委員・講師等

- ① 新尾道市史文化財編執筆者 2017年2月～
- ② 雲南市文化財保護審議会委員 2018年12月～
- ③ 三原市文化財保護審議会委員 2019年5月～
- ④ 島根県立大学非常勤講師 2023年10月～2024年3月
- ⑤ 美術史学会『美術史』第197冊査読委員 2023年12月～2024年2月

6. 調査指導・職員派遣等

- ① 町内仏像調査 隠岐の島町教育委員会 2023年5月16日～18日、10月31日～11月2日
- ② 市内仏像調査 安来市教育委員会 2023年7月7日、8月22日、11月30日
- ③ 益田市内仏像調査 島根県立石見美術館 2023年10月19日
- ④ 市内仏像調査 雲南市教育委員会 2023年11月6日、11月27日

古代文化センター企画運営委員会委員名簿

委員長	佐藤 信	東京大学名誉教授
職務代理者	山本 悦世	岡山大学名誉教授
委員	久留島 典子	神奈川大学国際日本学部教授
	小林 准士	島根大学法文学部教授
	千葉 潮	安来市加納美術館館長
	仁藤 敦史	国立歴史民俗博物館教授・総合研究大学院大学教授
	俵 木 悟	成城大学文芸学部教授
	平 郡 達哉	島根大学法文学部准教授
	山村 亜希	京都大学地球環境学堂教授
	山村 桃子	島根県立大学人間文化学部准教授
(令和6年3月現在 委員長・職務代理者以外の委員は50音順)		

古代文化センター客員研究員名簿

【考古基礎資料調査研究】

大橋 泰夫	島根大学法文学部教授
大谷 晃二	島根県立三刀屋高等学校教諭
吉田 広	愛媛大学ミュージアム教授
村田 裕一	山口大学人文学部准教授
岩本 崇	島根大学法文学部准教授

【風土記調査研究】

荒井 秀規	藤沢市郷土歴史課学芸員
伊藤 剣	明治大学法学部准教授
大日方 克己	島根大学名誉教授
渡邊 正巳	文化財調査コンサルタント

【祭礼行事調査研究】

笹原 亮二	国立民族学博物館教授
山崎 亮	島根大学人間科学部教授
久保田 裕道	東京文化財研究所無形文化遺産部無形民俗文化財研究室・室長
中野 洋平	島根県立大学人間文化学部准教授

【中世・近世史料の多角的研究】

小林 准士	島根大学法文学部教授
西田 友広	東京大学史料編纂所准教授

【テーマ研究】

(島根県域における弥生社会の総合的研究)

吉田 広	愛媛大学ミュージアム教授
若林 邦彦	同志社大学歴史資料館教授
會下 和宏	島根大学研究・学術情報機構総合博物館教授
寺前 直人	駒澤大学文学部教授
平郡 達哉	島根大学法文学部准教授

(中世山陰の戦争と地域社会)

	中 井 均	滋賀県立大学名誉教授
	山 本 浩 樹	龍谷大学文学部教授
	長谷川 博 史	島根大学教育学部教授
(島根の前期古墳)		
	北 條 芳 隆	東海大学教授
	高 田 健 一	鳥取大学教授
	岩 本 崇	島根大学准教授
	廣 瀬 覚	奈良文化財研究所都城発掘調査部考古第一研究室長
(鋳物と鋳物師の研究)		
	五十川 伸 矢	元京都橘大学教授
	三 船 温 尚	富山大学名誉教授
	鳥 谷 智 文	松江工業高等専門学校教授
	村 木 二 郎	国立歴史民俗博物館准教授
	角 田 徳 幸	雲南市教育委員会文化財課長
(律令制下における地方行政の研究)		
	大 橋 泰 夫	島根大学法文学部教授
	鐘 江 宏 之	学習院大学文学部教授
	田 中 広 明	埼玉県埋蔵文化財調査事業団
	森 公 章	東洋大学文学部教授
(幕末維新期の島根における地域社会の変容)		
	岸 本 覚	鳥取大学地域学部教授
	今 村 直 樹	熊本大学永青文庫研究センター准教授
	天 野 真 志	国立歴史民俗博物館准教授
	錦 織 稔 之	島根大学教育学部准教授

古代文化センター

センター長	池 淵 俊 一	古代出雲歴史博物館職員（兼務）	
主席研究員	平 石 充 *	調整監	守 岡 正 司
主 幹	岩 井 由 紀	専門研究員	岡 宏 三
主 事	金 崎 祐 子	〃	中 川 寧
専門研究員	目 次 謙 一 *	〃	久保田 一 郎
〃	東 森 晋 *	〃	勝 部 智 明
〃	矢 野 健太郎 *	〃	松 尾 充 晶
〃	石 山 祥 子 *	〃	藤 原 宏 夫
主任研究員	浅 沼 政 誌 *	〃	澤 田 正 明
〃	吉 松 優 希 *	〃	中 安 恵 一
〃	橋 本 剛 *	〃	濱 田 恒 志
〃	田 村 亨 *		
特任研究員	野々村 安 浩		
〃	廣 江 耕 史		
〃	榊 原 博 英		
〃	土 橋 由 奈		
調査研究補助	成 合 真紗美		
(* 古代出雲歴史博物館兼務)			

〈考古基礎資料調査研究・古代文化テーマ研究事業〉 文化財課

文化財グループ

課長 補佐 是田 敦
主 幹 増田 浩太

管理指導スタッフ

課長 補佐 岩橋 孝典
専門研究員 倉恒 康一
専門研究員 渡部 麻生

埋蔵文化財調査センター

高速道路S調整監 間野 大丞
高速道路S企画幹 宮本 正保
管 理 課 長 深田 浩
〃 保存活用係長 仁木 聡
〃 主任主事 真木 大空
〃 主任主事 岩崎 孝平
〃 主 事 木林 俊英
会計年度任用職員 上山 晶子

調査第一係長 林 健亮
〃 主 幹 神柱 靖彦
〃 主 幹 稲田 陽介
調査第二課長 東山 信治
調査第二係長 伊藤 徳広
〃 主 任 椿 真治
〃 主任主事 鈴木 七奈

島根県古代文化センター研究紀要『古代文化研究』投稿要項

1. 島根県古代文化センター研究紀要（以下「紀要」という）は、広義の古代文化に関する研究論文・研究ノート・研究資料・書評等を掲載することにより、古代文化研究の発展に寄与するものです。
2. 原則として、紀要は本誌のほか島根県文化財課のホームページで電子公開します。
3. 紀要に投稿することができる者は、次のとおりです。
 - (1) 島根県古代文化センター（以下「センター」という）の専任・兼務職員、客員研究員、共同研究員及びセンターの組織・運営に関与したことがある者
 - (2) その他、島根県古代文化センター編集委員会（以下「編集委員会」という）において適当と認めた者
4. 投稿原稿は未発表のものに限ります。ただし、既発表資料等でも新たな視点で論述したものは可とします。また、投稿本数については、原則として研究論文・研究ノート・研究資料・書評等1人あたり各1本までとします。
5. 投稿する文字原稿は電子データに限ります。また、その様式は下記のとおりとします。
 - (1) 横書き 1頁 50字×40行の左右1段組（2,000字）。
 - (2) 縦書き 1頁 37字×25行の上下2段組（1,850字）。ただし、縦書きは37字×25行の段組なしの形態でも結構です。
6. 投稿する論文や研究ノートは、原則として上述の様式で24ページ以内とします。
7. 投稿に際しての提出物は、下記のとおりです。
 - (1) 紙上にプリントアウトした原稿
 - (2) 文字原稿及び図版・写真のデータ
 - ・ワープロ原稿の場合は、機種とソフトを明記したCD（必ず控えを保管しておいてください）を提出してください。
 - ・図版や写真を使用する場合は、原稿と同時に提出してください。図版や写真を後で提出されても受理しません。また図版や写真の掲載位置を示したレイアウト見本を添付してください。
 - ・挿図、写真はデジタルデータでの投稿が可能ですが、使用できるOS、ソフトについて事前に問い合わせてください。
 - (3) 使用図版、写真等の掲載及び電子公開に関する、所有者及び著作権者等からの許可証
 - ・許可申請は執筆者が行ってください。様式は任意で構いません。
8. 投稿をご希望の場合は、エントリーシートを当該年度の4月1日より7月31日までに提出し、エントリーシート提出後9月30日までに完成原稿を提出してください。これらの期限を過ぎた場合は、当該年度の紀要への掲載をお断りすることがあります。
9. エントリーシート及び原稿は、下記問い合わせ先の住所またはメールアドレス宛へ提出してください。なお、エントリーシートはセンターのホームページからダウンロードできます。
10. 原稿の採否及び編集については編集委員会が決定します。なお、投稿原稿の返却を希望する場合は申し出てください。
11. 掲載の場合は、「紀要」2部並びに抜刷50部に限り贈呈します。
12. 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行いません。
13. 掲載原稿の転載については、編集委員会にご相談ください。

■ 問い合わせ先

〒690-8502 松江市殿町1番地 島根県庁第三分庁舎
島根県古代文化センター編集委員会
TEL 0852 (22) 6727 FAX 0852 (22) 6728
E-mail kodai@pref.shimane.lg.jp
ホームページ
<https://shimane-kodaibunka.jp>